現在は両方の肩を同時に1秒間マットに付けるとフォールとなるが、当時は瞬間でも同時に両肩をマットに付けるとフォールになった。

四角のマットの体面に副審が座っていた。決まった?・・とは副審の目の前だったので、 副審はサット手を挙げた(フォールの合図)主審は新潟高校・中央大学のOBで、オリン ピックの国内予選で2位でオリンピックには出場出来なかった。(1位の選手は金メダル 獲得)。卒業後は新潟市の本間組に勤務して、新潟県レスリング協会の重鎮。

主審が立っている位置からは良く確認出来なかったと思われるが、目の前で確認している副審がフォールの合図をしているのである。

しかし、主審の渡辺レフリーは認めなかった。

最終的には体力で劣る僕の判定負けとなって、市工の全国大会初出場の夢は消え去った。 内山キャプテンはもちろん、他校のキャプテンも抗議したが認められなかった。

そもそも、対戦校の0Bがレフリーをすること自体が納得できなかった。 内山君は松浜弁丸出しで口は悪かったが、根は優しい男だった。

僕も遠からずあの世とやらへ行くと思うが、また悔しかった試合の話を肴にして、酒を 酌み交わしたいなぁーーー。

よくぞまぁ~あの体で運転してきたもんだ!

ビッグショーから一カ月後に内山君は亡くなった。毎年1回は会社に来てくれた。

つも最後は、権しかった思い出話になる。

僕らの時代、新潟県は圧倒的にレスリングが強く、国体では少年の部(高校生)と成年

の部とも母中国体機勝を続けていた。

てかる。これり、世中華の全国地域人気は新陽中で開催されていた。

Massar のそびに主回から近辺でかた12 とびの自由はもびがようしゅうに分かれて、脳上 たりのリーダ戦を行い、各プロック主位の4チームがトーナメント器で展覧を集ら

新潟県は明訓。北越。新商の多校が常連で、獲る1枠を新潟高校。長岡。中越。巻農・

新潟市工で争うのが例年のパターンだった。

市工は最重量級の69キロ以上の選手が不在で、団体戦では不戦敗のパンデーがあった。

僕が2年の夏頃に身長の発育が出まったら、、4カ月間に体重が8キロも増えて71キロ

になったので、初めてフルメンバー (7名) で戦った。

1回戦は長岡高校に快勝。2回戦は新潟商業と全国選抜大会の初出場を懸けて対戦

同と内山君(69キロ以下)の対戦が終わって8対3の大接戦となった。

僕の試合で勝敗が決まる。責任重大であるので大変な試合になった。

新庭商業は最重量級の選手が居ないので、いつも相撲部キャプテンの桝口君が団体戦に

出てくる。彼は推測110キロ?テ僕とは約40キロの体重差がある。

その分、動きがトロかったので体をかわすと何回か羽目板にぶつかって行った。

そのうちにタイミングが合って、相手が裏返しになって背中から落ちた。